

# 一周の螺旋は円にも見える

- 井上修志個展 -

私は3.11の時に一瞬にして街が瓦礫の山となる姿を見て、社会と環境の関わりについて考えさせられ現在の制作に至っています。それは同時に私たちが技術的進歩を進める中で世界とどう関わるかについて考える事でもありました。人類は産業革命以降、飛躍的に発展し生活を便利にしています。そうした科学技術は世界に様々な影響を与えてきましたが、その影響は一概に良い影響とは限りません。そして扱う技術力が大きくなれば、その技術によって引き起こされる問題も大きくなる事も事実だと思います。現在、私たちの社会は多くの科学技術と共にあり、それに伴う多くの問題の上に成り立っています。問題が生まれるから飛躍があり、飛躍がある問題が生まるという矛盾の中に私たちの営みがあると言っているでしょう。矛盾の中で連続する発展とそれによって引き起こされる問題の繰り返し構造は円環にも見えます。しかしそれは円環ではなく、二度と戻らない同じ所には戻らない螺旋状なのかもしれません。私はその螺旋状の先がどこに向かうのか、また何ができるのかささやかながら考えてみたいと思っています。

井上修志

## オープニングイベント

アーティスト・トーク

井上 修志 (いのうえ・しゅうじ)

×

花田 伸一 (はなだ・しんいち)

2023.2.4(土) 14:00-15:30

定員25名 要事前申し込み 入場無料

会場：まるごとあらお (万田坑敷地内)

〒864-0001 熊本県荒尾市原万田169-22

※荒尾市万田坑ステーション向かい建物

お車でお越しの際は万田坑駐車場をご利用下さい。

<申し込み方法>

メール件名を「井上修志トーク参加希望」とし

本文に以下を明記の上

kumamotomotomoto@gmail.com

までお送りください。

①参加者氏名 ②参加人数 ③代表申込者電話番号



## 井上修志

INOUE Shuji

1995年 宮城県生まれ

2021年 東京東京藝術大学大学院グローバルアートプラクティス専攻修了

自身が持つ3.11の経験から社会の脆さや危うさ、また対峙する社会と自然の構造に興味を持つ。公共空間に作品を持ち込み、場所での物理的に規定される事、或いは場所へ依存する作品が多い。空間が持つ歴史や意味性を紐解き、自らのフィルターを通して現在と接合する。日常生活で不要になった物や廃棄物などを素材とした彫刻作品やインスタレーション作品を手掛ける。



花田伸一 (キュレーター/佐賀大学芸術地域デザイン学部准教授)

1972年福岡生、佐賀市・北九州市在住

北九州市立美術館学芸員、フリーを経て2016年現職。主な企画『6th 北九州ビエンナーレ〜ことのはじまり』(2001)、『街じゅうアート in 北九州 2012 ART FOR SHARE』、『ちくごアートファーム計画』(2014、15、19)

## 同時期企画

本展と同時期に、荒尾市の万田坑(世界遺産)にてAIR motomotoの関連企画展示が開催されます。詳細についてはホームページをご覧ください。  
<https://www.city.arao.lg.jp>

AIR motomoto 企画

miike echo

-友定睦個展-

2023.2.7(火)~4.2(日)

万田坑ステーション・旧万田坑施設



AIR motomoto 2021 年度・招聘作家友定睦の個展を、リサーチ現場の一角所である万田坑にて、展示発表します。

アクセス

AIR motomotoの所在地はグリーンランドから、車で約3分程度九州産交バス・荒尾駅発5番バス野中(荒尾)バス停より徒歩1分です。

井上修志が、北海道にアーティスト・イン・レジデンス(AIR)のために来たのは、2021年8月だった。北海道室蘭で制作された「釣れた魚に街の風景をみせる」とタイトルされた作品で、水槽の中の魚は不穏な気配をつれてくるように私たちの落ち着きを失わせていく。

それは、直接にも触れることができなかったコロナ禍の私たち自身のように迫ってきたのを記憶している。

その後の、ホテル川久AIR(和歌山)で制作・発表した作品「床をあげる」をみたとき、

ああ、こういうところに君はいたのか、とふと思った。

これまでにも出身地の宮城県石巻にある「日和山」につながる作品では、2011年3月11日に、井上自身がいたその場所を、同じ場所の瓦礫を積み上げてかたちづくろうとしていた。

井上が、自分がある(いた)場所、そのときの土地の空気、感触、てざわりを地面、

グラウンドにかえるのはなぜだろう。野球部だったからなのか? こんど井上くんに聞いてみたい。

小田井 真美(さっぽろ天神山スタジオ・AIR ディレクター)

感染対策

○入館時に検温をさせていただきます。※37.5℃以上の発熱がある方は入館をお断りさせていただきます。  
○来館される際は、マスクの着用をお願いします。  
○来館中も、こまめな手洗いや手指の消毒をお願いします。※各所に手指消毒液を準備しております。

新型コロナウイルス感染拡大の状況によってはオープニングイベントの中止を行う場合があります。詳細と最新情報については当館ホームページまたはSNSをご確認ください。